

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

しんくまのさん

新熊野山

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

倉敷市林



時代

古代～中世(奈良時代以降)



指定年月日

昭和48(1973)年
5月15日



所有

熊野神社他



し せ き

この史跡について

五流修験は、役小角が伊豆大島に流されたときにその難を逃れ、海路児島にたどり着いた高弟たちが開いたとされる修験道一派です。古くから熊野権現を中心として「五流修験」と呼ばれて栄えました。

伝わっていることによると、奈良時代に紀州熊野権現をこの地に勧請したときに、木見の諸興寺を新宮、熊野権現を本宮、由加山を那智宮として、熊野三山になぞらえる見立てにより、新熊野山と称するようになったといわれています。蟻峰山の深い緑に抱かれた一帯は、こうした歴史を伝える貴重な区域として史跡指定されています。

域内には、秀麗な三重塔がそびえ、五流尊瀧院宝塔が木立の中にひっそりと立ち、熊野神社の社殿が檜皮の屋根を連ねています。

こうした、国・県指定の文化財のほかにも、毘沙門堂・報恩院跡・諸興寺跡などの遺跡や遺構が各所に点在しています。

